

令和5年度

フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト戦略検討委員会

令和6年2月9日(金)15:00~17:00

プロジェクトの取組

具体的な展開

産業競争力の向上



食を中心とするヘルスケアの推進

- 【目標】
- ・食を中心とする健康増進社会の実現
 - ・異分野の融合によるイノベーションの創出

- 【指標】
- ・静岡県健康寿命 日本一
 - ・食料品等の付加価値労働生産性 日本一

戦略1：きわめる（研究開発）



オープンイノベーションやデータ活用による研究開発の推進

- ・ファルマ、フoton, AOI, MaOI, ChaOIとのプロジェクト間連携
- ・大学シーズやSR等の成果の公開
- ・健康データを活用したデータ駆動型の研究開発

戦略2：つくる（製品開発）



競争力のある高付加価値製品の開発

- ・県産農林畜水産物を活用した機能性のある製品開発
- ・優れたものづくり技術による生産性の向上（加工機械、フードロス）
- ・肥沃な土づくりによる豊かな農産物の展開
- ・健康情報を見える化するデバイス等の開発支援

戦略3：いどむ（ヘルスケア）



データヘルスの実践による健康機能の維持・増進

- ・県民の健康データの収集と活用（データヘルス・リビングラボ）
- ・健康課題に対応した製品・サービスの開発（フレイル、メタボ等）
- ・ヘルスケア産業の創出（食や運動を含む健康プログラムの開発）
- ・幼年期の食生活の向上と食育の充実

戦略4：とどける（販路開拓）



社会の環境変化を踏まえたマーケットインによる販路拡大とサービスの提供

- ・地域のブランディングによる商品価値の創造
- ・現代のライフスタイルや健康状態に応じた商品とサービス展開

戦略5：そだてる（人材育成）



産業人材等の育成と開発環境の充実によるクラスター形成

- ・健康講座などによる県民の社会参加促進と健康リテラシーの向上
- ・総合食品学講座の拡充
- ・健康イノベーション専攻の設置（静岡県立大学）

戦略6：ひろめる（情報発信）



「食の都」の内なる国際化と魅力ある静岡の食文化の発信

- ・ハラール等に対応した食の展開
- ・GAPやHACCP等の国際規格への対応支援
- ・静岡型健康食の海外ビジネスの展開

機能性食品開発プラットフォーム

- ・相談から届出、販路まで一貫支援
- ・フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションセンターと県立大学にて整備

化粧品開発プラットフォーム

- ・化粧品素材開発及び製品化を支援
- ・農林水産物の付加価値向上

FHCaOIフォーラム

- ・企業等が集まる出会いとイノベーション創造の場

データヘルス・リビングラボ 静岡

- ・県民参加による実証フィールド
- ・サイエンスに基づくデータを収集
- ・新たなサービス創造の場

取組を支える体制

今年度の取組実績

○【進捗状況】食品分野



新事業創造研究会の成果品
戸田タチバナのペーストを活用したフィナンシェ

【概要】

- 本プロジェクトとAOI、MaOI等の先端産業創出プロジェクト、大学や公設試との連携が進んでいる。
- 機能性食品開発プラットフォームが有効に機能し、県内企業の届出件数は全国トップクラス
- 首都圏での展示会出展、テスト販売、商品のブラッシュアップなど、新たな販路拡大に向けた取組を支援
- R5は、フードテックを活用した静岡発「未来の食」の開発に向けた、県内外企業の協業を支援

機能性食品開発プラットフォーム

機能性表示食品の開発を、相談から科学的根拠の証明、消費者庁への届出まで一貫支援する体制を全国に先駆けて整備



- 静岡県内企業による届出件数 329件【全国4位】
- プラットフォームによる支援件数 55社103品目
- 製造品目数 2,237件(全体の37.2%)【全国第1位】



Wの効果!
ゼンライスプラス



真あじ塩焼き

今年度の新たな取組やトピック

- **フードテック・ヘルステックビジネス創出支援**
 - ・2つのテーマによる県内の食品関連事業者と、県内外のソリューションを有する企業との協業支援
 - ① サステナブルな仕組・製品づくり
 - ② 災害時にも活用できる健康食の開発
 - ・メディアによる取組の情報発信
- **ドラッグストアでのプロジェクト成果品の販路拡大支援**
 - ・(株)杏林堂薬局と連携し、本プロジェクト成果品の販路拡大のため、一部店舗における成果品の販売促進・県民へのプロジェクトの周知啓発
- **ムードフードを意識した機能性おやつの開発支援**
 - ・「おいしく」、「楽しく」をテーマに食事の合間に食べることのできる機能性おやつの試作(新事業創造研究会)



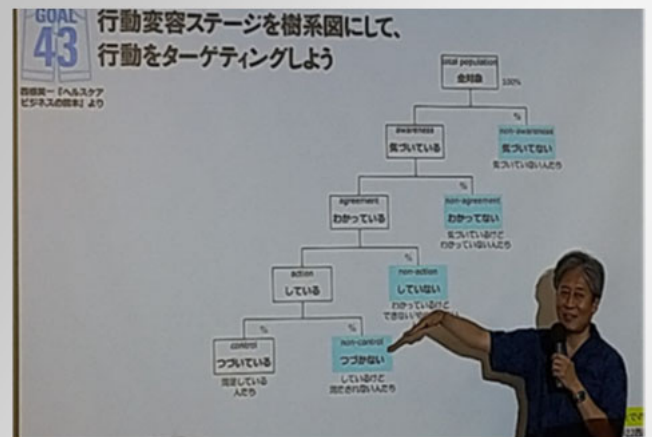
日経SDGsフェスでの
県フードテック事業の情報発信



(株)杏林堂薬局とのプロジェクト
成果品の選定商談

○【進捗状況】ヘルスケア分野

ヘルスケアビジネス開発支援



ヘルスケアビジネス開発ワークショップ

- 【概要】
- R2より、本プロジェクトの新たな柱として、ヘルスケアの取組を開始
 - 支援体制の整備として、県立大学が、静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を活動拠点とし、リビングラボ(実証フィールド)を整備
 - ヘルスケアサービスに求められるエビデンス取得のため、学術機関(静岡県立大学、静岡社会健康医学大学院大学等)との連携体制の構築を推進
 - R5は、ヘルスケア分野への参入を検討する企業の事業計画の作成を支援

支援項目	内容
コーディネーター(CD)	・研究機関と事業者とのマッチング促進 ・研究及び開発状況等の進捗管理
助成金	・事業化に向けた実証実験等の経費を助成
リビングラボ(ビジネス)(R4~財団)	・サービス開発の意見を聞きたい ・調査や実証を行いたいなど
リビングラボ(実証フィールド)	・ワークショップや実証事業等を行うためのフィールドの提供 ・県大は、全フィールドに対し、学術的知見の提供

ビジネス領域 (企業) ↓

参加企業 → 相談 → 財団CDが各種相談に対応 【相談窓口(財団)】

＜さまざまな実証フィールド＞

- ①静岡市地域福祉共生センター「みなくる」(県大)
- 約200人(ウェアラブル端末装着)から活動量や睡眠データなどが取得可能
- ②健康経営企業
- ③介護施設
- ④その他のフィールド

学術的知見の提供 (県大)

・コーディネーター配置や助成金、実証フィールド(リビングラボ)の整備、静岡社会健康医学大学院大学との連携等により、ヘルスケアビジネスのエビデンス取得や事業化を支援

・実証フィールド「みなくる」に集まる地域住民にウェアラブル端末を貸出し、健康の見える化(活動量、心拍数、睡眠時間等)や、商品等のモニターを実施



「みなくる」
モニター:約280名

今年度の新たな取組やトピック

- **ヘルスケアビジネス開発ワークショップ**
・ヘルスケア分野への参入を検討する企業等の事業計画の作成を支援(対面講座5回+オンラインフォローアップ2回)
- **静岡社会健康医学大学院大学と企業等との連携**
・(株)ウェルビーフードシステムが提供する脱塩機での調整減塩調味料を活用した介護食(減塩食)の身体への影響に関する共同研究に向けての静岡社会健康医学大学院大学と連携
- **ウェルビーイング産業創出セミナー・交流会の開催**
・オープンイノベーションによる次世代ウェルビーイングの産業創出をテーマとした企業向けセミナー、交流会を開催



(株)ウェルビーフードシステム脱塩機



ウェルビーイング産業創出セミナー

プロジェクト成果品の売上等の状況

プロジェクト関連助成実績

- ・R4製品化件数:16件
- ・R4売上金額:3億9,500万円(R1~R3成果品)
 - ※ うち3億円930万円が機能性表示食品
- ・直近5年間売上金額計:58億5,800万円

商談会実績

- ・R4出展支援:9展示会61社
- ・R4商談件数:2,197件
- ・R4成約金額:4,260万円

令和5年度に事業化した主なプロジェクト成果品

○サラダ小松菜NEO

(株)森島農園

【機能性表示食品開発PF】

- ・コントラスト感度(目のぼやけ、かすみ)を改善するルテイン含有の機能性表示食品
- ・ウエルネスアワード2023 認知睡眠部門 銅賞受賞



○晴レノ日ノ醤油

(株)ハチマル

【R3新事業創造研究会】

- ・令和3年5月の竜巻被災で奇跡的に発見された45年前の酵母から生まれた特別な醤油
- ・伝統的な木桶天然醸造で丹念に醸造



○from banana

(株)white from green

【R4 丸スクアビジ 初事業化促進助成】

- ・規格外バナナを活用したレジスタントスターチ(難消化性でんぷん)を含む健康増進食品
- ・R5 第9回ジャパン・ビューティアワード審査員賞受賞



○配食サービス

(株)天神屋

【R4 丸スクアビジ 初事業化促進助成】

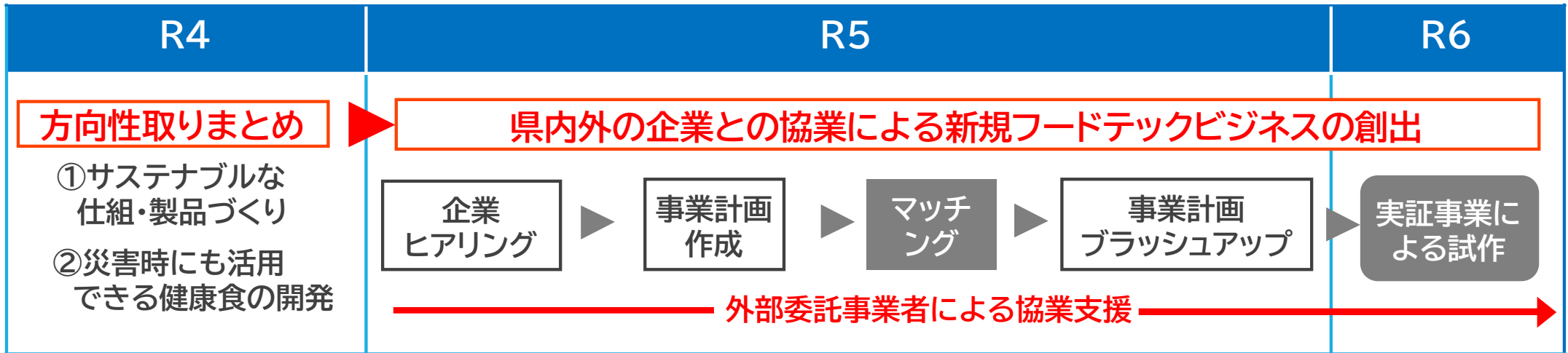
- ・在宅介護生活者への配食サービスや、管理栄養士による栄養管理を通じた、フレイル予防、要介護度の維持・改善のためのトータルケアサービス



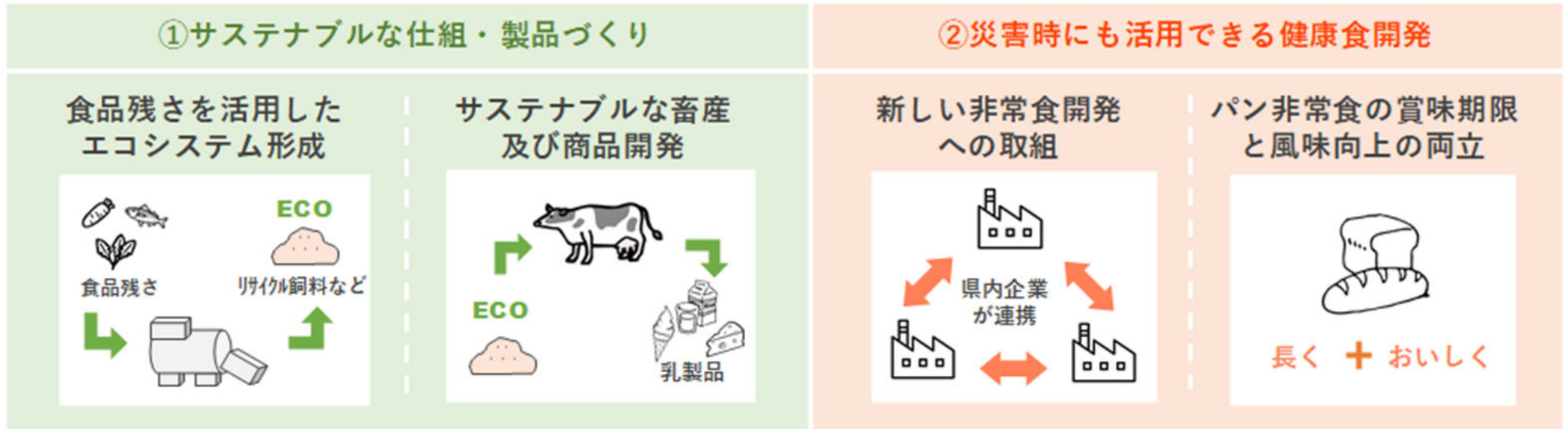
来年度の取組

○フードテック活用の推進① <R5事業実績・R6事業予定>

<事業展開>



<今年度支援する事業アイデア>



○フードテック活用の推進② <R6事業予定>

【仕組づくりに向けた課題】

- ・活用の可能性がある素材が県内にどの程度あるか分からない
- ・食品廃棄の情報を一元的に入手する手段が無い
- ・企業が個別に情報把握するのは非効率

サステナブルな仕組・製品づくり



【R6事業予定】
サステナブルな仕組・
製品づくりに向けた
基盤整備



プロジェクトの変遷

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7~
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	----

始動期

FSH 戦略計画

FSH 第2次戦略画

FHCaOI 第1次戦略計画

第2次戦略計画

(一般型)
国の都市エリア産学官連携推進事業開始

(発展型)
国の都市エリア産学官連携推進事業開始
食品・飲料等の合計生産金額第1位

フーズ・サイエンスセンター設置
フーズ・サイエンスヒルズP推進事業開始

高付加価値型食品等開発助成事業

金融機関の参画による産学官金連携の整備

機能性表示食品届出支援体制確立

販路・サイエンスの強化

化粧品等の化成品支援強化

健康食イノベーション推進事業開始

データ・ヘルスリビングラボ静岡の運用

ヘルスケアビジネス事業化推進助成事業

製品づくり等の推進

フードテックを活用した、サステナブルな仕組

静岡市

焼津市

藤枝市

金融機関